

静岡市清水区感染症発生動向

2018年 26週 集計期間 6/25-7/1

	-6M	6-12M	1Y	2Y	3Y	4Y	5Y	6Y	7Y	8Y	9Y	10-14Y	15-19Y	20Y-
RS感染症			2			1								3
咽頭結膜熱			2					1						3
溶連菌感染症					1		4			1	1			7
感染性胃腸炎		5	3	2	8	5	4	5	5	2	7			1
水痘										2		1		3
手足口病					1									1
伝染性紅斑			1	1	1			1	1					5
突発性発疹		1	4			1								6
百日咳														
ヘルパンギーナ			3	2	3	1								9
流行性耳下腺炎					1									1
麻疹														
風疹														
マイコプラズマ 髄膜炎 MCLS														
小児科Flu														
小児科定点総数 85 増減 -31 前週比 73.3% 定点当たり 14.2 病院:開業医 3:82 増減 -1:-30														
内科Flu														
インフルエンザ総数 増減 0 前週比 ? % 定点当たり 小児科:内科 0:0 増減 0:0														

総数85、前週の73.3%と、減少です。

首位は、感染性胃腸炎で、前週比73.4%、定点当たり7.8と減少です。

2位は、ヘルパンギーナ、前週比225%、定点当たり1.5と、倍増です。

3位は、溶連菌感染症、前週比33%、定点当たり1.2と、流行中です。

4位は、突発性発疹、前週比85.7%、定点当たり1です。

以下は、定点当たり1未満ですが、伝染性紅斑が5名と目立ち、

RSと咽頭結膜熱と水痘が、3名ずつ報告です。

残りは、手足口病、流行性耳下腺炎が1名ずつです。

7/1、小児科休日当番は、来院数73名、胃腸炎8名、アデノ、手足口病、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、1名ずつ、とご報告いただいています。

当番医、63名から73名に増加、ヘルパンギーナが増加し、夏風邪としか言えない発熱患者が増えてきました。